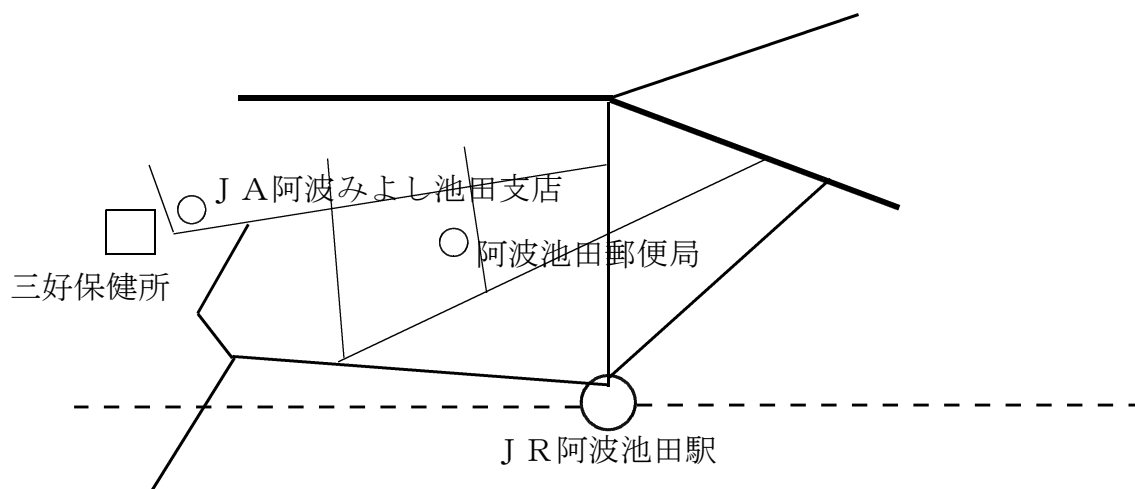


I 保健所の概要

1 沿革

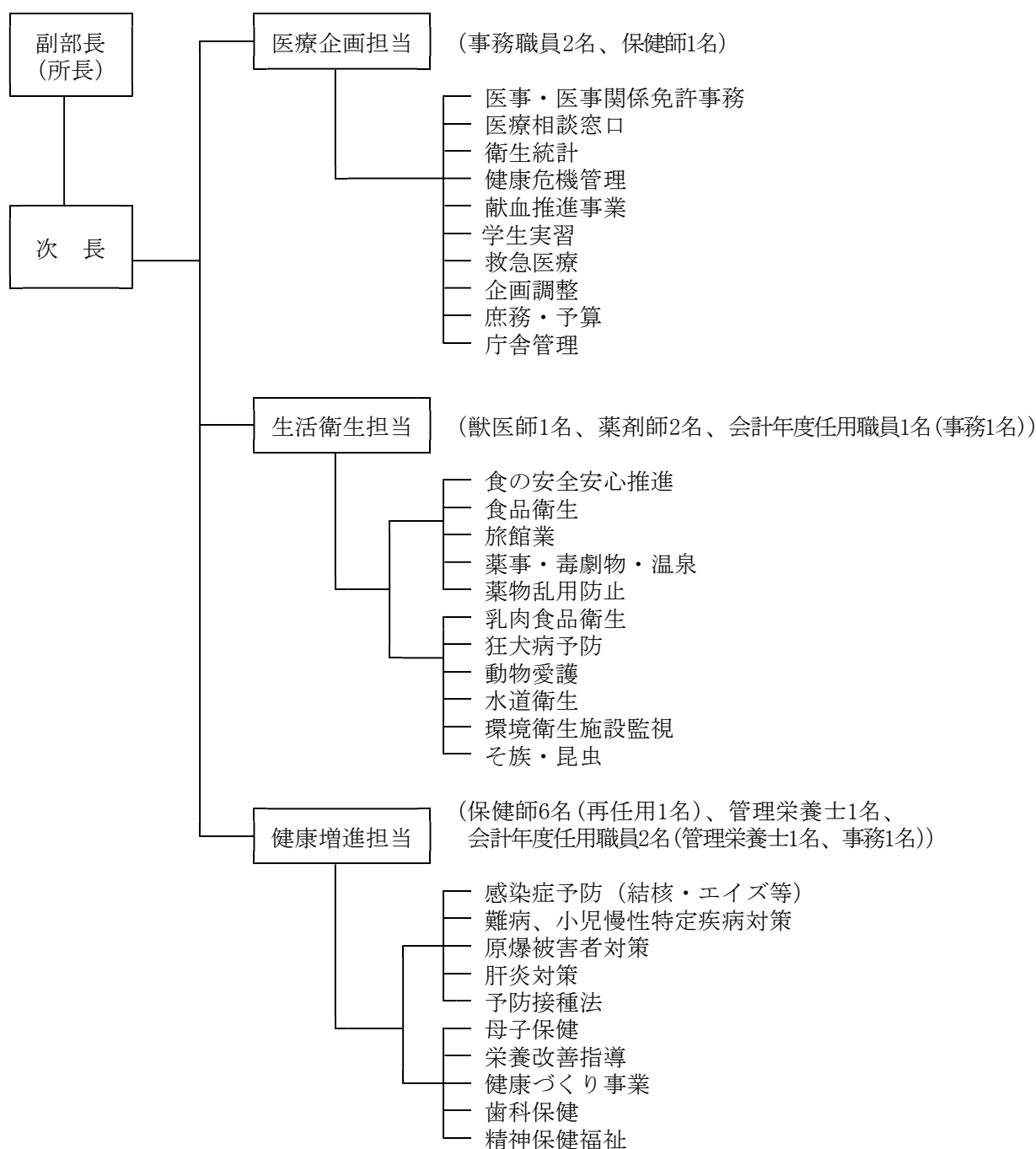
年 月	事 項
昭和20年11月	創設、県衛生課細菌検査池田支所（元三好郡医師会所有建物）
昭和26年 4月	庁舎完成移転（工費2,769千円）池田町ウエノ C級保健所格付
昭和35年 8月	保健所規格基準の改正によりL5型となる
昭和38年 4月	保健婦係が新設された
昭和42年 4月	県行政組織規則の改正により3課5係制となる
昭和47年 4月	新庁舎完成（現庁舎）移転 池田町字マチ2542の4番地
昭和57年 8月	車庫 24.96㎡（1,300千円）増築
昭和59年10月	構内電話設備改修（1,300千円）完成
昭和61年12月	外壁補修、その他工事（6,950千円）竣工
平成 2年 3月	車庫 40.0㎡（3,193千円）新築
平成 8年 3月	犬拘留所 23.89㎡（15,604千円）
平成 9年 4月	機構改革により、保健予防課、予防係、保健婦係を廃止し、健康増進課、健康対策係、疾病対策係を新設した
平成18年 4月	機構改革により、西部総合県民局が新設。これに伴い、これまでの課・係を廃止し、新たに医療企画担当、生活衛生担当、健康増進担当を新設するとともに、保健所の名称も三好保健所に改めた
平成23年 3月	耐震改修他工事（55,641千円）屋外排水設備改修工事（15,383千円）竣工

2 位置図



3 組織及び事務分掌

令和6年4月1日現在



【三好保健所協議会等】

徳島県西部地区感染症診査協議会
徳島県西部圏域難病対策地域協議会

4 重点事項

【医療企画担当】

(1) 地域医療支援事業

地域医療を推進するため、地域医療の現状・課題を把握するとともに関係機関と連携して普及啓発に努める。地域住民を対象に地域医療支援リーダー養成講習会を開催して西部圏域における地域医療を普及する支援者及びリーダーとなる者を養成し、地域医療の充実に努める。また、救急医療対策連絡協議会を開催し、救急医療対策についての課題を共有し、関係機関の連携を図る。

在宅医療については在宅医療・介護コーディネーター事業の推進、及び人材育成研修会の開催等による顔の見える関係づくりを通じて、地域の多職種連携を図りながら地域包括ケア体制の構築に取り組む。

(2) 健康危機管理体制の整備

地域における健康危機管理対策の拠点として、健康危機発生時の対応だけでなく、平常時からの対策強化に努める。特に、災害時コーディネーター事業において、調整会議及び健康危機管理研修会等を開催して、災害時における関係機関の理解・協力の推進及びネットワークの構築に努めるとともに、防災関連訓練に参加し、災害時の役割について確認する。また、所内においても「健康危機管理マニュアル」を共有し、所内体制の強化に努める。

【生活衛生担当】

(1) 食中毒の発生防止並びに流通食品の安全性確保

「徳島県食品衛生監視指導計画」に基づき食中毒が発生しやすい飲食店等の業種及び食中毒発生時には大規模な患者の発生につながる集団給食施設に対し、重点的な監視指導を実施する。

ノロウイルスや加熱不十分な鶏肉が原因食材として確定されるカンピロバクターによる食中毒の危険性について啓発を行い、食中毒の予防対策として、食肉や器具の取扱や衛生的な手洗いの実施などの指導を行う。

また、野生鳥獣肉処理施設設置者および処理従事者に対し、野生鳥獣肉の安全性が確保できるよう必要な知識の普及啓発に努める。

(2) 生活衛生関係営業施設の衛生対策の推進

日常生活に極めて密着した公衆浴場業、理容業、美容業及びクリーニング業などの生活衛生関係営業施設への定期的な監視指導を実施し、施設の衛生基準の維持向上及び経営者の衛生管理意識の向上に努める。

管内は県内有数の観光地であることから、年間を通して訪れる多くの観光客が利用する宿泊施設として、旅館業に対して法令遵守や衛生管理等について指導を実施する。

(3) 動物の適正飼養及び動物愛護思想の普及・啓発

少子高齢化・核家族化が進むなか、動物を心の「支え」や「生きがい」と感じる等、ペットが家族の一員としての地位を獲得して大切に飼養されている。しかし、一方では安易な動物の飼養に起因する迷惑行為からのトラブル発生や動物の遺棄・虐待などの事例も増加している。

「動物の愛護及び管理に関する法律」や「徳島県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、人と動物が共生する社会を目指して、今後も動物愛護思想の向上と適正飼養の普及・啓発

に努める。

また、災害時の動物救護のあり方に対する関心が高まっており、大規模災害に対するペット飼育者の備えや、災害発生時の対処について正しい知識の普及・啓発に努める。

【健康増進担当】

(1) 結核・感染症対策の推進

管内における結核罹患率は近年減少傾向にあるが、依然全国より高い状況にある。

適正な結核患者管理、治療継続のための服薬支援体制の構築と、積極的疫学調査等により患者家族及び接触者に対して接触者健診を実施、一方既登録患者に対して管理健診を実施し、まん延防止を図る。

感染症については、患者発生時には、積極的疫学調査と健康診断、保健指導等の実施によりまん延防止を図るとともに、インフルエンザ、感染性胃腸炎等の流行性感染症については、関係機関との連携、地域の実情に即応した的確な予防措置に努める。

また、エイズ対策については、エイズ相談・抗体検査の実施のほか、エイズ検査普及週間や世界エイズデーにあわせて幅広く広報することによりエイズについての正しい知識の普及啓発を図る。

(2) 生活習慣病対策

慢性閉塞性肺疾患や肺がん、糖尿病や腎不全の死亡率が高い管内において、喫煙対策及び糖尿病・慢性腎臓病対策は喫緊の課題である。糖尿病対策としては、「徳島・にし阿波」ですすめる健康づくり事業」の実施において、「にし阿波・糖尿病サポーター」の養成や「糖尿病予防啓発活動」を行い、広く啓発を行う。また、野菜摂取量アップに関しては、学校等と連携し給食を介した健康づくりアドバイスカードの配布や情報発信により「にし阿波・野菜食べようデー」の普及拡大等官民一体となった糖尿病予防対策を推進する。

また、喫煙対策として、「おいしい空気で、健康のおもてなし」をキャッチフレーズに、職域における喫煙対策や、学校保健と連携した喫煙防止教育を推進する。

(3) 精神保健福祉の推進

管内は自殺率が高い現状が続いており、の開催や各ライフステージに応じた出前講座・身近な相談場所としての「はあとケア相談会」の開催や関係職員のスキルアップ研修などの自殺予防対策を推進する。

精神障がいを持つ人への支援については、地域で生活しやすいようボランティアの育成を始め、当事者や家族への支援を行うとともに、管内の保健、医療、福祉等の各関係機関と連携を深め、退院後の地域支援体制の充実を図る。また、コミュニケーションが苦手なひきこもりがちな若者に対しては、相談支援事業所であるワークサポートやまなみ、NPO法人みよしサポート協会「ぴあぞら」等と連携し就労等に向けた支援を推進する。

5 定例業務の案内

令和6年4月現在

内 容	実 施 日	時 間	場 所	摘 要
B型・C型肝炎 検査及び相談	毎月第1・第3木曜日	9:00～10:00	三好保健所	要予約
梅毒検査及び相談	毎月第1・第3木曜日	9:00～10:00	同 上	要予約
エイズ検査及び 相 談	毎月第1・第3木曜日	10:00～11:00	同 上	
骨 髄 バ ン ク 登 録 受 付	毎月第1・第3木曜日	11:00～12:00	同 上	要予約
HTLV-1相談	毎月第1・第3木曜日	11:00～12:00	同 上	
療 育 相 談 (整形外科医)	偶数月第1水曜日	13:00～14:00	同 上	要予約
精神保健福祉相談	毎月第2・第4水曜日	10:00～15:00	同 上	要予約
断 酒 会	毎月第2・第4木曜日	18:00～20:00	同 上	
思 春 期 電 話 相 談	随 時	8:30～17:15	同 上	
更 年 期 電 話 相 談	随 時	8:30～17:15	同 上	

※ 健康に関する研修会、講演会を随時開催しています。

6 管内の概況

(1) 管内の略図

- ◆保健所
- 市役所・町役場
- △救急指定病院
- ×警察署
- ※西部総合県民局三好庁舎



(2) 地理的、社会的状況

当保健所は県西部の三好市及び東みよし町を所管区域とし、その面積は843.90 k²と県全体の約20%を占めていますが、約86%にあたる725 k²が山間地域であるため、社会基盤の整備が遅れています。

そのため、若年労働者層を中心に人口流出が続いており、県内でも人口減少率の高い地域となっています。平成27年から令和2年の減少率は、三好市12.0%、東みよし町6.9%です。

また、人口に占める65歳以上の人口比率は令和5年4月1日時点で三好市48.2%、東みよし町38.3%と高い割合を示し、過疎化と共に少子高齢化が進んでいます。

(3) 人口動態等の状況

① 管内人口・面積

区分 市町名	平成22年国勢調査		平成27年国勢調査		令和2年国勢調査		面積 (平方km)
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	
三好市	29,963	12,038	26,836	11,311	23,605	10,325	721.42
東みよし町	15,049	5,258	14,638	5,325	13,622	5,182	122.48
管内計	45,012	17,296	41,474	16,636	37,227	15,507	843.90

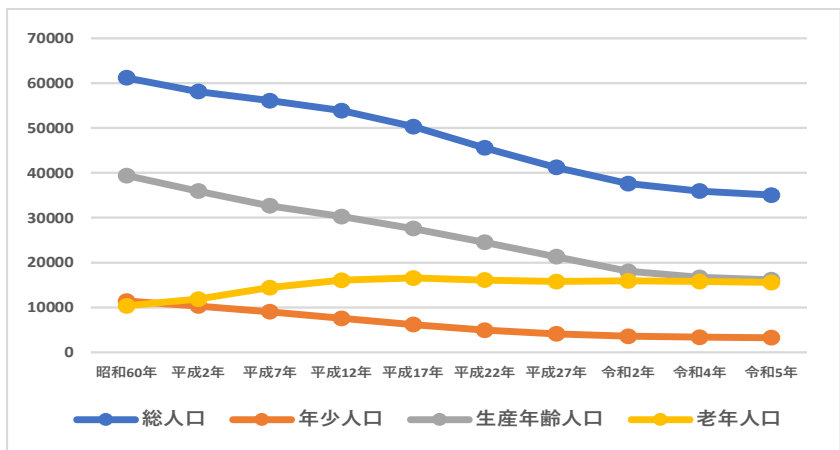
人口・世帯数：総務省統計局国勢統計課「国勢調査報告」資料

面積：令和2年10月1日 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調べ」

国勢調査：日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、5年ごとに法律に基づいて実施される調査

② 管内年齢3区分人口の推移と構成割合（上段：人口（人）・下段：総人口に占める割合）

区分	年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
年少人口 (0～14歳)	人口	7,562	6,167	4,944	4,111	3,575	3,468	3,378	3,254
	割合	14.0%	12.3%	10.8%	10.0%	9.5%	9.4%	9.4%	9.3%
生産年齢人口 (15～64歳)	人口	30,248	27,578	24,517	21,303	18,073	17,418	16,690	16,159
	割合	56.1%	54.8%	53.8%	51.7%	48.0%	47.4%	46.5%	46.1%
老年人口 (65歳以上)	人口	16,074	16,571	16,103	15,790	15,923	15,805	15,783	15,565
	割合	29.8%	32.9%	35.3%	38.3%	42.3%	43.0%	43.9%	44.4%
総人口		53,884	50,316	45,579	41,224	37,613	36,763	35,923	35,050



管内年齢3区分人口の推移
※令和5年4月1日

徳島県統計データ課資料
各年齢階層の合計と
総人口が一致しない
のは年齢不詳の方が
いるため。

③総死亡数

【令和4年】

	徳島県	三好保健所管内	三好市	東みよし町
総死亡数	10,968	810	569	241

④主要死因別死亡数

【令和4年】

	徳島県	三好保健所管内	三好市	東みよし町
悪性新生物	2,403	174	113	61
心疾患	1,637	101	71	30
肺炎	693	78	59	19
脳血管疾患	706	43	29	14
不慮の事故	355	29	18	11
腎不全	252	11	9	2
慢性閉塞性肺疾患	138	5	5	0
糖尿病	130	9	8	1
自殺	90	5	4	1

資料：徳島県人口動態集計システム

⑤主要死因別死亡率（人口10万人対）

【令和4年】

	徳島県	三好保健所管内	三好市	東みよし町
悪性新生物	341.5	488.9	505.1	461.3
心疾患	232.6	283.8	317.4	226.9
肺炎	98.5	219.1	263.7	143.7
脳血管疾患	100.3	120.8	129.6	105.9
不慮の事故	50.4	81.5	80.5	83.2
腎不全	35.8	30.9	40.2	15.1
慢性閉塞性肺疾患	19.6	14.0	22.4	0.0
糖尿病	18.5	25.3	35.8	7.6
自殺	12.8	14.0	17.9	7.6

資料：徳島県人口動態集計システム